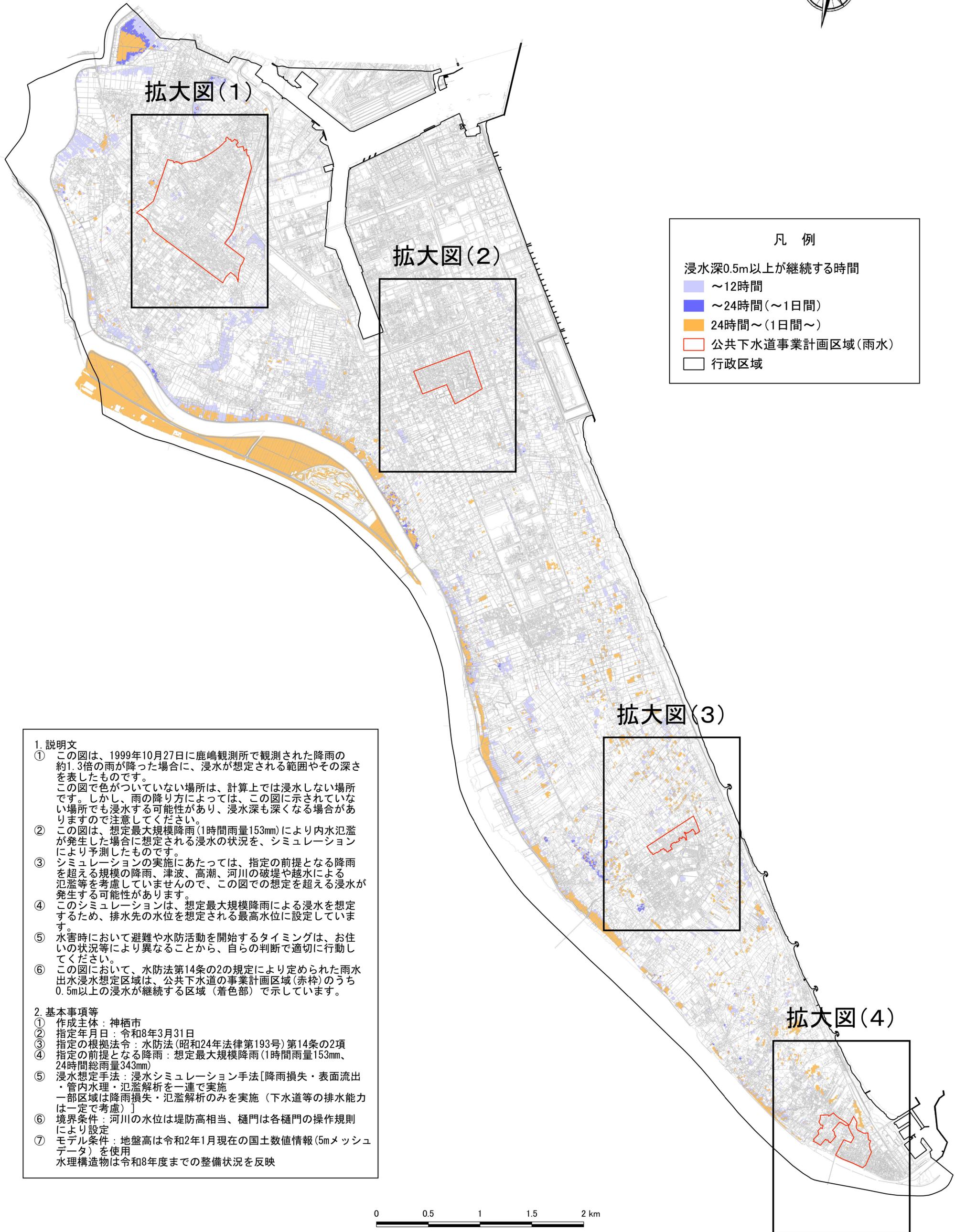


雨水出水浸水想定区域図 (浸水継続時間)



凡例

浸水深0.5m以上が継続する時間

～12時間

～24時間(～1日間)

24時間～(1日間～)

公共下水道事業計画区域(雨水)

行政区画

1. 説明文

- ① この図は、1999年10月27日に鹿嶋観測所で観測された降雨の約1.3倍の雨が降った場合に、浸水が想定される範囲やその深さを表したものです。
この図で色がついていない場所は、計算上では浸水しない場所です。しかし、雨の降り方によっては、この図に示されていない場所でも浸水する可能性があり、浸水深も深くなる場合がありますので注意してください。
- ② この図は、想定最大規模降雨(1時間雨量153mm)により内水氾濫が発生した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより予測したものです。
- ③ シミュレーションの実施にあたっては、指定の前提となる降雨を超える規模の降雨、津波、高潮、河川の破堤や越水による氾濫等を考慮していませんので、この図での想定を超える浸水が発生する可能性があります。
- ④ このシミュレーションは、想定最大規模降雨による浸水を想定するため、排水先の水位を想定される最高水位に設定しています。
- ⑤ 水害時において避難や水防活動を開始するタイミングは、お住いの状況等により異なることから、自らの判断で適切に行動してください。
- ⑥ この図において、水防法第14条の2の規定により定められた雨水出水浸水想定区域は、公共下水道の事業計画区域(赤枠)のうち0.5m以上の浸水が継続する区域(着色部)で示しています。

2. 基本事項等

- ① 作成主体：神栖市
- ② 指定年月日：令和8年3月31日
- ③ 指定の根拠法令：水防法(昭和24年法律第193号)第14条の2項
- ④ 指定の前提となる降雨：想定最大規模降雨(1時間雨量153mm、24時間総雨量343mm)
- ⑤ 浸水想定手法：浸水シミュレーション手法[降雨損失・表面流出・管内水理・氾濫解析を一連で実施
一部区域は降雨損失・氾濫解析のみを実施(下水道等の排水能力は一定で考慮)]
- ⑥ 境界条件：河川の水位は堤防高相当、樋門は各樋門の操作規則により設定
- ⑦ モデル条件：地盤高は令和2年1月現在の国土数値情報(5mメッシュデータ)を使用
水理構造物は令和8年度までの整備状況を反映

0 0.5 1 1.5 2 km